



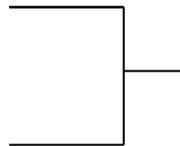
品種の特性

- 「若水」に比べ出穂期で8日、成熟期で11日遅い。
栃木県では晩生種。
- 耐倒伏性は「若水」並みに強く、穂発芽制は難、
耐冷性は中。
- 葉いもち病には強く、穂いもち病にはやや強い。
- 収量性はきわめて高く、「若水」に比べ20%程度多い。
- 玄米の外観品質は、心白が小さいためやや劣るが、
玄米中の蛋白質濃度は低い。



育種過程

- 平成8年（交配）
 - 「信交酒480号」（♀）
 - （後の「ひとごち」）
 - 「関東177号」（♂）



「とちぎ酒14」

- 平成19年3月23日（品種登録）
品種登録番号：第15391号

栽培体系

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
○	●			▲		■	

○ 播種 ● 移植 ▲ 出穂 ■ 収穫